

お詫び

この度、拙著の PIL テスト日本版の記載に関して重大な誤記がありました。以下の点を謹んでお詫びの上、訂正させていただきます。

1. 調査当時に用いた PIL テスト日本版は、1975 年版であり、質問紙自体にはこの度の誤記は含まれておりませんでした。
2. 今回の調査では、筆者の文献調査の不備から 1975 年版を使用しておりましたが、PIL テスト日本版は、1993 年に標準化され、マニュアル付きで（株）システムパブリカから出版されており、さらに 1998 年に改訂版、2008 年に改訂新版が出版されております。本書の調査には当時の最新版を用いるべきでした。
3. PIL テスト日本版は、Part A のみでなく、B、C についても記述文を評定・数量化していますが、本書では PIL テスト日本版および日本での PIL 研究について触れることができませんでした。PIL テスト日本版については佐藤監修『PIL テストハンドブック改訂版』（株）システムパブリカ）他、多くの研究書がありますので、必要な方はご参照ください。また今後、PIL テスト日本版を用いた調査を計画される方がおられましたら、1975 年版ではなく、必ず（株）システムパブリカ (<http://www.systempublica.com>) にお問い合わせの上で、最新版の PIL テスト用紙と記録用紙を用いていただくよう、お願いいたします。

この度の誤記とそれに伴う訂正は、挙げて著者である浦田の責めに帰するものです。ご迷惑をおかけしました PIL 研究者の佐藤文子先生ならびに PIL 研究会の皆様、PIL テスト日本版を出版されている（株）システムパブリカ様、そして読者の皆様に対し、深くお詫び申し上げます。

著者

具体的な訂正内容につきましては、裏面の正誤表に記載の国会 web をご確認ください。